

令和6年度第1回大船渡市地域助け合い協議会 報告書

開催日時	令和6年8月27日（火） 午後1時30分～午後2時50分
場所	総合福祉センター 大会議室
出席者	○委員20名 佐藤惟司、大和田洋太郎、新沼眞作、佐藤高廣、志田俊一、田村敏夫、新沼良治、山下通、村上芳春、鈴木健悦、新沼秀人、金野敏夫、星正和、菅野勝子、佐々木祐也、村上守弘、笹野淳子、坂本奈津江、上関優、村上トメ子 ※ 欠席者なし
事務局	○6名 【包括】佐々木室長、佐々木次長、大和田主幹、鈴木主幹、新沼係長 【長寿】新沼補佐、鈴木係長
内容	・委嘱状交付 ・協議 地域助け合い協議会の取組について
記録	地域包括ケア推進室 係長 新沼 篤

- 1 委嘱状交付
- 2 協議会開会（進行：佐々木次長）
 - ・会議成立の報告と職員紹介
- 2 会長及び副会長の選出
 - 事務局案を提案（会長：山下通委員 副会長：笹野淳子委員）
 - ⇒賛成多数により可決
- 3 山下会長より挨拶
- 4 協議
 - ・設置要綱の規定により山下会長が議長となり進行。
 - ・協議資料について、新沼係長が説明。

<意見及び質問要旨>

〔新沼良治委員〕

移動支援については、どういう形で支援していく予定なのか？

〔佐々木次長〕

公共交通施策でカバーできない層に対し、地域貢献の意思のある民間や法人等の協力を得て、市が間に入り、地域とのマッチングをしていくイメージである。

〔新沼良治委員〕

立根地区でも検討したが、保険の問題で二の足を踏んでいた。
要望があれば車が準備できるのか？

〔佐々木次長〕

その辺りを今後検討していきたい。

今回は移動支援を1つのテーマとしたいという提案なので、今回の会議で賛同いただければ進めていきたい。

〔新沼良治委員〕

保険整備が出来ていないのが当地区で支援が進まない要因。

厳しいとは思いますが、できれば保険整備までお願いしたい。

〔佐々木次長〕

保険を市が担うかは検討が必要。

なるべく利用希望者の声には応えていきたい。

〔佐々木部長〕

吉浜地区のような取り組みを広げる余地はあると思っている。保険の話も含めてプランを作り、地域に提案していきたい。

〔上関優委員〕

移動の問題について地域で対応していくため、以前には研修を行った。

また講師を呼ぶなりして、市民が全国の好事例を学ぶ機会も作っていただきたい。

〔佐々木次長〕

地域特性が違えばなかなか上手くいかないこともあるが、引き続き情報収集して検討する。

まずは市が地域の方へ入って行って道筋をつけたいと考えている。

〔田村敏夫委員〕

移動支援については、当地区でもアンケートや包括と相談するなどしてきたが、市の方針がいつ頃出てくるのかお聞きしたい。

他市を視察した際、矢作地区の方で、市からの50～60万円程度の補助金を活用して、メンテナンスも含めた車の運行事業を行っていると聞いた。

そういった形などで、足りない部分を地域で補完できたらいいと思う。

〔佐々木次長〕

今後の取組については、地域や介護事業所等への依頼や協議を、年内を目途に進めたいと考えていた。

その後一旦整理してからお示ししたい。

〔佐々木部長〕

各地区を直接回って事情を伺った上で、地区の事情を踏まえたものを提案したい。

地区の事情を踏まえ、提案したいと考えている。

公共交通政策に影響が及ばない程度の範囲で、週1回、2週に1回といったプランを12月上旬までを目途に、一度お示ししたい。

〔志田俊一委員〕

今回の移動支援の協議は、時宜を得ていると感じた。

蛸ノ浦地区におけるまちづくり関係のワークショップでも、若い世代から移動支援の課題が出て

いるが、実際に進めるのは非常に難しい問題だと感じていた。
ニーズやアイデアの調査は早めにやる必要がやるべきだと思う。

〔佐々木次長〕

確かに難しい課題ではあるが、いつまでも課題として残すのではなく、何かしらで動いて前に進めたい。

早速地域の方に入るなりして把握していきたい。

〔新沼眞作委員〕

かなり前から移動支援は課題となっていたが、ようやく市が動こうとしているのを感じている。
地区内からは300円程度の有償サービスを始めてもいいのではといった声も出ていた。

今後については、企業側から車提供等の協力を期待するという趣旨だが、ボランティアや奉仕活動等をした人がいれば、そういった意向も組み入れてほしい。

無償というのも難しいので、市の財政支援も重要かと考える。

また、保険や賠償の対応、陸運局や公共交通との兼ね合いも出てくるが、リスクだけを考えていては成り立たない。よりよい支援方法を構築いただきたい。

〔佐々木次長〕

財政的な部分については、ここでは申し上げられないが、先進地事例等も勉強しながら一つずつ課題をつぶしていきたい。

〔佐々木部長〕

各地区の事情を踏まえながら案を作っていくが、保険の負担などまで全て市がやるのは難しい。
なかなか話は詰まらないかと思うが、長年の課題解決に向けて協力をお願いしたい。

〔上関優委員〕

移動支援は切羽詰まった問題だと感じている。

高齢者の免許返納が進まないこと、高齢者による交通事故が増加していることから、早急に取り組んでいていただきたい。

〔志田俊一委員〕

蛸ノ浦のような地域では、免許を返納するとどこにも行けないのが現状。

個人的には免許返納を推奨していく気持ちはないので、高齢者の交通事故の問題を移動支援に結びつけた考え方をしていくのは避けてほしい。

〔佐々木次長〕

免許返納はあくまでも個人の判断であり、当協議会で推進していく考えはない。

免許返納の要因の1つに寄与していくことができればと思う。

〔鈴木健悦委員〕

各地区、地域の実情はそれぞれであり、状況も常に変化している。

市が地区に入る前にこちらでも地区の実情を把握するなどして準備したいので、いつ頃の予定か把握しておきたい。

〔佐々木次長〕

こちらもそれなりを準備や調整をしてからとなるが、そう遅くならないうちにと考えている。

〔鈴木健悦委員〕

他もそうかもしれないが、越喜来地区では秋の行事が多く、調査に時間が取れない。

地区ではアイデアをもらいたいと考えているので、他地区の例など、いろいろなものを持ってきてもらいたい。

〔佐々木次長〕

時期については各地区の事情に合わせる。

お互いに情報共有しながら、一方通行にならないよう進めたい。

5 その他

〔上関優委員〕

- ・さわやか財団のオンライン配信イベント「いきがい・助け合いオンラインフェスタ」が開催されるので、ぜひ参考に利用いただきたい。

〔新沼眞作委員〕

- ・助け合い協議会の名称表記について、「地区」や「地域」といった言葉が多くて区別しにくいいため見直してはどうか。

⇒後日、検討する。(佐々木次長)

5 閉 会